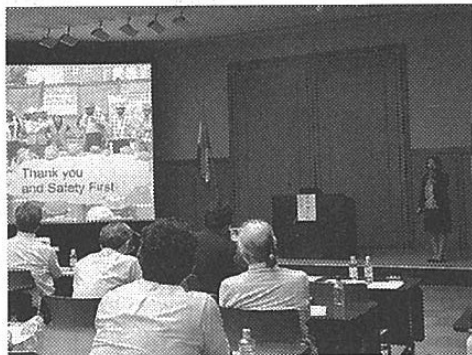


【オリコンサルグローバル インドメトロの女性土木技術者奮闘記

海外事業は夢のある仕事 JICA 出版記念セミナー】

国際協力機構（JICA）は25日、東京都内でJICA事業の軌跡などを紹介する「プロジェクト・ヒストリー」シリーズの出版記念セミナーを開いた。20冊目の『マダム、これが俺たちのメトロだ！』インドで地下鉄整備に挑む女性土木技術者の奮闘記』の著者・阿部玲子さん（オリエンタルコンサルタンツグローバルインド現地法人社長）ら



インドでの現場管理や日常の出来事などをユーモラスに紹介する阿部さんに

関係者を講師に招き、専門分野からインド事業の苦労や成果などを語ってもらった。

冒頭、JICA研究所の菅島信子所長は「これまでのシリーズと異なり、一人の女性エンジニアにフォーカスしたヒューマンヒストリーとなる。今後も国際協

インドメトロの女性土木技術者奮闘記

海外事業は夢のある仕事

JICA出版記念セミナー

力にかかわっている人たちの思いや悩み、喜び、悲しみも含めて形に残していきたい」とあいさつした。

書籍の発刊に当たり、阿部さんは「インドの地下鉄工事やこれまでの技術者人生での経験をこの本を通じて共有し、楽しんでもらえればと思う。特に若い人たちに対して海外プロジェクト

JICAの前インド事務所長の坂本威午氏（中東・欧州部審議役）が講演し、地下鉄などのハード完成後に起

この社会的な行動様式や価値観の変化について言及。数分間隔で安定的に運行されるメトロを利用することで整列乗車といった行動が市民に広がるなど、現地での変化の事例を挙げながら、「メトロ事業の一義的な効果以外に、間接的な社会へのインパクトは大きい」と述べた。

デリーメトロの建設現場などの安全対策を支援した神戸大学大学院の芥川真一教授は「何かが変わったことによって起きる予兆の『見える化』が、多くの人たちがかかわる現場の安全管理では重要だ」と指摘。各種センサーなどを活用して多面的・多角的に現場をモニタリングする必要性を訴えた。